



NO. 195

2009. 9. 15.

社会福祉法人 大阪市知的障害者育成会

(別名 大阪市手をつなぐ親の会)

http://city-osaka-ikuseikai.or.jp

大阪市天王寺区東高津町 12-10

大阪市立社会福祉センターB1F

発行責任者 笹野井 庸夫

TEL 06 (6765) 5621 FAX 06 (6765) 5623

障害があっても地域で自分らしく、普通に生きる

生活支援ノートを作ってみました

事務局長 長田 昇一

家族の一員として

いま、障害のある子供だけでなく、親やきょうだいを含めた家族を支援すること、障害のある子供と家族それぞれが、自分の人生を一步踏み出すことができればと、家族支援プロジェクトの取り組みが進められています。

子供が生まれたときから、成長していく中で、親やきょうだいの支援が必要とするこどももありますが、子供たちもそれぞれの人生を歩みます。(家族支援プロジェクトについては十一月八日の大阪市育成会大会で学習します)

地域の中で

子供たちが、安心して地域で暮らしているため、障害のある本人の健康状態、生育

歴、生活実態、個性や性格等を地域の方を知っていたことが必要です。そして、障害のあることを理解し、サポートできる気持ちを自然と育むことが出来ればと思います。

障害のある人たちが、この世に生を受けて良かったと思えるように人生を送り、生きがいのある生活を可能な限り支援をしていくのが親の責任使命だと思えます。本人たちが親離れし、親から独立して行くとしても、親をはじめ家族、関係者からの引継ぎとして、今までの本人の暮らしを次の支え手に伝えていくことも大切です。

障害があっても、親亡き後も地域で安心して安全に暮らしていくために、今までの生活の中で感じてきたことや気

持ちを丁寧に伝え、積み上げ、第三者に託していくための準備が必要です。

その一助とするため、同じ道を歩んできた親、家族を中心に関係者の思いを込め、本人たちのより充実した人生と周囲の方々により正しく理解していただくために生活支援ノートを作ってみました。

支援ノートとは

支援ノートとは、その名のとおり、「本人の行動・生活をサポートする際に家族や支援者に利用してもらう」携帯用のノートです。支援を必要とする本人も安心、支援する人も安心、そして本人の行動範囲、世界を広げていくためのコミュニケーションの道しるべです。

こんなことを伝えます

- ① 名前、生年月日、血液型など
② 現在治療中の病気、か

かりつけ医

- ③ 福祉支援の記録
④ 妊娠・出産時の記録
⑤ 年齢に応じた発達の記録
⑥ 保育所・小中高の療育・教育の記録
⑦ 予防接種・病気などの記録
⑧ アレルギーなどの薬の記録
⑨ 一般就労・福祉就労等の記録
⑩ パニック・癖・表現など個性について
⑪ 友人・後见人・関係機関等の連絡先

支援ノート

作ってみました

大阪市育成会では、北海道育成会の協力により、支援ノートを作ってみました。支援ノートは、重要な記録メモも残せるようにカバーつきのノートです。

十月の支部連絡会で報告